

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～I組

使用教科書：（「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」（二宮書店））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標： 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 1 球面上の世界 【知識及び技能】 地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につけ、球面として成り立つ世界認識をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組む。	・指導事項 球面上の世界 ・教材 教科書、地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】地球上の位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 【思考・判断・表現】球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。	○	○	○	2
2 日本の位置と領域 【知識及び技能】 図法によって異なる世界地図の特色を捉え、スケール、視点、図法などを変化させながら、世界における日本の位置を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバルな立場から日本の領域を理解するために、国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づく。	・指導事項 球面上の世界 ・教材 教科書、地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】世界地図の主な図法と利用について理解できたか。国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がり理解できたか。 【思考・判断・表現】世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。	○	○	○	3
4 暮らしのなかの地図とGIS 【知識及び技能】 身近な地図を集め、それらの地図の特徴を捉え、地図情報の有用性を理解する。地図情報を活用する方法として、紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し、地理院地図や地形図を通して認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 GISが日常生活にも利用されている実例を捉え、大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。	・指導事項 球面上の世界 ・教材 教科書、地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。地理院地図やひたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 【思考・判断・表現】身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
第1章 3 国内や国家間の結びつき 【知識及び技能】 グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために、世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信、貿易・物流、観光の視点から、人やもの、情報、資本・サービスの移動のようすについて、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために、資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。	・指導事項 球面上の世界 ・教材 教科書、地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 【思考・判断・表現】複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第2章 1 地形と生活文化 【知識及び技能】 世界の大地形の広がりやプレートテクトニクスにもづくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し、地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 河川、海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり、およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、写真や地形図などの資料を通して考える。 【学びに向かう力、人間性等】 地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できたか。生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	○	○	○	3
	第5章 1 日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 日本列島の地形と気候の特徴を主題図、グラフ、写真などの資料をもとに、多様性や自然の恵みがあることを認識しながら、自然災害を与える要素があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため、風水害、火山、地震・津波、都市型の災害の具体的な事例について、新旧の地形図、ハザードマップ、気象情報、電子地図などを利用する技能とともに捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどうすれば良いのか考え、居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できたか。地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。 【思考・判断・表現】日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できたか。	○	○	○	4
2 学期	2 気候と生活文化 【知識及び技能】 世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え、植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか、どのような生活の工夫があるのか、写真や雨温図などの資料から考える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。 【思考・判断・表現】世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	3 産業と生活文化 【知識及び技能】 世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え、世界スケールにおける第1次産業、第2次産業、第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業の発達と生活文化がどのようにかわるのか、産業はどのように変化してきているのか、主題図などの資料を通じて理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	○	○	○	2
4 宗教・言語と生活文化 【知識及び技能】 世界でみられる生活文化の多様性について、宗教、言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の少数民族、移民、難民の問題を捉えながら、マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し、自他の文化を尊重する社会の実現を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	○	○	○	2	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学期	1 経済発展と生活文化の変化 ～東アジア 【知識及び技能】 社会経済システムの変化に焦点を当て、東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 特に世界や日本、中国、韓国の3か国とのつながりから両国の経済発展の発達過程について理解し、経済発展の結果として起きている様々な問題について生活文化と対応させながら考える。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題について探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え、課題を整理できたか。中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。 【思考・判断・表現】重層的、複合的に成立しているASEAN諸国を例に主題図や写真から言語・宗教の観点で特徴を見出すことができたか。ASEAN諸国の統合による生活文化の変化について考察し、課題を協議できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題について探究できたか。日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究できたか。	○	○	○	3
	2 宗教の多様性と生活文化 ～ASEAN諸国 【知識及び技能】 多民族社会と地域統合に焦点を当て、様々な言語や宗教をもつ東南アジア諸国の人々の生活文化にどのような特色がみられるのか、主題図や写真などの資料をもとに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特に仏教、イスラム教、キリスト教の各文化圏における生活文化の多様性や多言語・多民族社会の様子、また豊かな資源を背景に経済発展を遂げるASEAN諸国の現状と課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な言語・宗教からなるASEANにおける経済成長と経済格差について意欲的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から多民族社会を構成する地域的な特徴を捉え、生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。ASEAN諸国を例に多様な民族が暮らす国々が統合を進めていった背景や課題について理解できたか。 【思考・判断・表現】中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について、主題図などの資料をもとに考察できたか。日中韓の連携を学習内容から見出し、新しい関係づくりを捉えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】多様な言語・宗教からなるASEANにおける経済成長と経済格差について意欲的に探究できたか。	○	○	○	3
	3 水の恵みと生活文化 ～南アジア 【知識及び技能】 水資源に焦点を当て、地形、気候などの自然環境を捉えながら、水資源と宗教、農業、文化や産業の成立の関わりを主題図やグラフなどの資料を通じて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済成長を背景とした水資源の課題を周辺国とのつながりから考える。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化と産業の進展の関連や市場経済の進展による自然環境への影響など、地域の課題を多角的、多面的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から自然環境を捉え、生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。水の恵みを受けた農業と生活文化の関わりについて理解できたか。 【思考・判断・表現】インドを例に自然環境と農業のつながりを資料をもとに考察できたか。経済発展による生活文化の変化と、それに伴う水問題の課題について考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化と産業の進展の関連や市場経済の進展による自然環境への影響など、地域の課題を多角的、多面的に探究できたか。	○	○	○	2
	4 イスラム社会の多様性と生活文化 ～イスラム圏 【知識及び技能】 イスラムに焦点を当て、気候条件、宗派の違い、聖地メッカからの距離、エネルギー資源の有無などを基盤とした経済水準の違いについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ムスリムの生活文化に差異をもたらしている要因を主題図や写真などの資料をもとに考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会問題の例として、パレスチナやエルサレムの問題、少数民族の問題を民族・言語の分布から理解する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真からイスラム圏の特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応を整理できたか。豊富なエネルギー資源による恵みと生活文化の変化を理解できたか。イスラム圏の課題を日本との関連をふまえて整理できたか。 【思考・判断・表現】写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで、写真と地図を組み合わせて考察し、イスラム圏の生活文化を説明できたか。地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】イスラム圏の生活文化を意欲的に調べ、圏内の共通点や相違点を探究できたか。課題がどのように日本と関わっているかを考え、日本や自身が取り組むべきことは何かを追究できたか。	○	○	○	3
	5 多様な気候と生活文化 ～アフリカ 【知識及び技能】 自然環境と生活文化の対応とその多様性に焦点を当て、モノカルチャー経済の構造は残りながらも、多様性に富む自然環境や食文化をもち、資源開発などを背景とした近年の経済成長について主題図や写真などの資料を通じて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済成長や開発などを背景としたアフリカの課題を自然環境と生活文化の関わりから考える。 【学びに向かう力、人間性等】 食文化や生活の工夫を調べ、多様な自然環境の広がりとの対応を見出し、意欲的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。生活文化を地形や気候と関連づけ、農業と食文化の関連について理解できたか。 【思考・判断・表現】地形、気候、歴史的背景とともに生活文化の多様性を考察できたか。経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえ、アフリカの課題について捉え、課題やその対策を説明できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】食文化や生活の工夫を調べ、多様な自然環境の広がりとの対応を見出し、意欲的に探究できたか。アフリカの課題をまとめ、SDGsをふまえた課題解決策を考えたり調べたりできたか。	○	○	○	2
	6 経済統合による生活文化の変化 ～EUと周辺諸国 【知識及び技能】 産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴やその歴史的背景を捉え、気候、言語・宗教の分布などを関連させながら主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域統合の長所とともにイギリスのEU離脱や加盟各国の移民排斥の動きの強まりなどの課題を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え、自然環境や言語、宗教と関連づけて整理できたか。産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。言語や宗派の違いを乗り越えEUが統合する背景を理解できたか。 【思考・判断・表現】ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について、主題図をもとに考察できたか。EUへの加盟国と離脱する国があることをふまえ、EU統合に伴う生活への影響を考察し、今後の課題について資料をもとに協議できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当数
2 学期	7 寒冷な気候と生活文化 ～ロシア 【知識及び技能】 寒冷な自然環境に焦点を当て、ロシアを例に主題図やグラフなどの資料をもとに気候に制約を受ける農業など、自然環境と人々の生活との対応を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 豊富な鉱物資源を背景にしたヨーロッパ諸国や日本など東アジアとの結びつきや近年の開発による自然環境への影響を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え、生活文化や産業の発展と関連づけて整理できたか。周辺国との関連から産業の発展を捉え、経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。 【思考・判断・表現】寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え、自然環境の変化による影響を協議できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。	○	○	○	2
	8 グローバル化による生活文化の変化 ～アメリカ・カナダ 【知識及び技能】 社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、主題図や写真などの資料を通じて、民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業の農業の発達とアメリカ合衆国の外食産業やICT産業などの多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えている現状を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 アメリカ合衆国の貿易の問題についてグローバルな視点で考える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。 【思考・判断・表現】グローバルな観点やアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え、世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。産業や世界の貿易体制の変化を考察し、それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】アメリカの社会経済システムを農業、工業などの観点から多面的、多角的に捉え、世界への影響を意欲的に探究できたか。アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え、世界への影響をふまえながら追究できたか。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	9 土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ 【知識及び技能】 開発に焦点を当て、ラテンアメリカで様々な人びとが生活している理由やプランテーションをはじめ農業や鉱業などの産業の多様性がみられる理由について、主題図やグラフなどの資料をもとに多様な自然環境や植民地時代の開発の影響、そして近年の社会経済システムの変化から捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 鉱工業が発展していく中で生じている貧富の差の現状を捉え、その解決に向けた取り組みを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から開発の背景を捉え、開発と自然環境、生活文化、産業との関わりを整理できたか。資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。 【思考・判断・表現】図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について、課題とともに協議できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究できたか。都市問題や経済問題、環境問題などについて意欲的に調べ、その要因と解決について協議できたか。	○	○	○	2
10 植民と移民による生活文化の形成～オーストラリア 【知識及び技能】 開発に焦点を当て、オーストラリアとニュージーランドの自然環境の違いを比較し、主題図や写真などの資料から植民の歴史とそこに展開する産業を捉え、両国の生活文化の違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 オーストラリアとニュージーランドの生活文化の歴史的背景や現状と将来について、周辺国とのつながりや多文化社会と関連づけて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 2つの国を比較して開発の背景を捉え、植民と移民による産業の進展を意欲的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】図版や写真から農業と鉱業の観点からみた開発の背景を比較しながら整理できたか。周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。 【思考・判断・表現】2つの国の開発の背景を比較し、共通点と相違点を考察できたか。開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】2つの国を比較して開発の背景を捉え、植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。2つの国の課題を整理し、貿易や移民の変化を追究できたか。	○	○	○	2	
3 学期	1 地球環境問題 【知識及び技能】 持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起きている環境問題は、一国だけで対応できるものではないこと、多面的・多角的に考えていくことが必要であることを、自らとかかわる問題であることをSDGsをふまえて認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 深刻な地球環境問題を生じている大気汚染、森林減少、砂漠化、気候変動について事例をあげて捉え、それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できたか。環境問題の現状を捉え、原因や影響を図解して整理できたか。 【思考・判断・表現】世界のどこで、どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。SDGsの目標をふまえ、海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。	○	○	○	2

高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ I 組

使用教科書： (「高等学校 歴史総合」(第一学習社))

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会において主体的に生きる能力を育成する。

【知識及び技能】 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解するとともに、歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

科目 歴史総合 の目標： 近現代の世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第一部 歴史の扉</p> <p>【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>〈 指導項目 〉</p> <p>①歴史と私たち</p> <p>②歴史の特質と資料</p> <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット</p>	<p>【知識・技能】 複数の資料に基づいて、身近な地域などに見られる諸事象によって日本や日本周辺の地域の歴史が叙述されていることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 複数の資料の関係や異同に着目して、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史について、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	2
<p>第二部 近現代の世界と日本</p> <p>第1章 近代化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取りまとめたりする技能を身につけ、人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>〈 指導事項 〉</p> <p>①18世紀のアジアの繁栄</p> <ul style="list-style-type: none"> 東アジアの政治と国際秩序 東アジアの経済と社会 <p>②産業革命と市民革命</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際商業の覇権争いと大西洋三角貿易 産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ナポレオン時代 大西洋革命 <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット</p>	<p>【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。欧米の市民革命や国民統合の動向を基に、立憲体制の形成を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。産業革命や市民革命の影響に着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 近代化と私たち</p> <p>【知識及び技能】交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけ、人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>〈 指導事項 〉</p> <p>③イギリスの繁栄と国民国家の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの繁栄 ・後進国の「上からの近代化」 ・ロシアの近代化と南下政策 ・アメリカ合衆国の膨張 <p>④アジア諸国の変貌と日本の開国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の衰退と西アジア ・南アジアと東南アジアの植民地化 ・東アジアの動揺と改革 ・明治初期日本の外交と東アジアの国際秩序 ・日本の立憲国家への道のり <p>⑤帝国主義の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の時代と列強の世界政策 ・日清戦争と中国分割 ・日露戦争とアジア ・日本の工業化と社会主義運動の高揚 ・日本の帝国主義と東アジア <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット</p>	<p>【知識・技能】18世紀後半以降の国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。</p> <p>列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>【知識及び技能】国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>〈 指導事項 〉</p> <p>①第一次世界大戦と大衆社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・ヴェルサイユ＝ワシントン体制 ・アジア諸国の独立運動 ・東アジアの民族運動と日本 ・アメリカの大衆社会 ・大正デモクラシーと日本社会の変化 <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット</p>	<p>【知識・技能】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</p> <p>大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>2 学期</p> <p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>【知識及び技能】国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	<p>〈 指導事項 〉</p> <p>②経済危機と第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌 ・ファシズムと軍部の台頭 ・日中戦争の会開始と戦時下の日本 ・第二次世界大戦 <p>③第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合と国際経済体制 ・冷戦の開始とアジアへの波及 ・敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定 ・平和条約と日本の独立回復 <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット</p>	<p>【知識・技能】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。</p> <p>第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～I組

使用教科書：(「詳説日本史」(山川出版社))

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第I部 原始・古代</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。</p> <p>②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。</p> <p>④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</p> <p>③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p> <p>④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。</p>	<p>〈指導項目〉</p> <p>①日本文化のあけぼの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の始まり ・農耕社会の成立 <p>②古墳とヤマト政権</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷 <p>③律令国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容 <p>④貴族政治の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士 <p>〈教材〉</p> <p>教科書、図説、史料集 プリント、タブレット</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。</p> <p>②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。</p> <p>④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>第Ⅱ部 中世</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。</p> <p>②中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。</p> <p>④武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>④武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。</p> <p>⑤武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>中世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>〈 指導事項 〉</p> <p>①院政と武士の躍進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院政の始まり ・院政と平氏政権 <p>②武家政権の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 <p>③武家社会の成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場 <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、図説、史料集 プリント、タブレット</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。</p> <p>②中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。</p> <p>④武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ⑤武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>中世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
2 学 期	<p>第Ⅲ部 近世</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。</p> <p>②近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。</p> <p>④産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>④織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>⑤社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>〈 指導事項 〉</p> <p>①近世の幕開け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権 ・桃山文化 <p>②幕藩体制の成立と展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 <p>③幕藩体制の動揺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化 <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、図説、史料集 プリント、タブレット</p>	<p>第Ⅲ部 近世</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。</p> <p>②近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。</p> <p>④産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>④織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>⑤社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	<p>第IV部 近代・現代</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>① 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解している。</p> <p>② 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③ 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。</p> <p>④ 文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>① 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>② 時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>④ アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>⑤ 欧米の思想・文化の影響、産業の発展の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>〈 指導事項 〉</p> <p>① 近世から近代へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 <p>② 近代国家の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 <p>③ 近代国家の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦 ・ワシントン体制 <p>④ 近代の産業と生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化 <p>〈 教材 〉</p> <p>教科書、図説、史料集 プリント、タブレット</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>① 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解している。</p> <p>② 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>③ 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。</p> <p>④ 文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>① 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>② 時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>④ アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>⑤ 欧米の思想・文化の影響、産業の発展の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～I組

使用教科書：(「詳説世界史探究」(山川出版社))

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解するとともに、歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。
- 【思考力、判断力、表現力等】歴史的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学 期</p> <p>第Ⅰ節 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>【知識及び技能】 ・おもな古代文明について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 ・古代におけるアジアやヨーロッパの身分・階級・王権・宗教に関して理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の成立と古代文明の特質 ・アジア世界・イスラーム世界・ヨーロッパ世界の形成 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント、詳説世界史図録 ・世界史重要語句チェックリスト ・生徒用タブレット 	<p>【知識・技能】 オリेंट文明、ギリシア・ローマ文明、インダス文明、中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 オリेंट文明、ギリシア・ローマ文明、インダス文明、中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して、歴史的なもの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オリेंट文明、ギリシア・ローマ文明、インダス文明、中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>第Ⅱ節 諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】 ・中世から近世にかけてユーラシア大陸において諸地域の交流が起こり、これにともなう文化の伝播が起こったこと理解する。 ・中世から近世において諸地域でおこなわれていた交易の特徴について理解する。 ・交流・交易を通して、各地域の社会にも変容が起こることを理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア世界・イスラーム世界・ヨーロッパ世界の変容 ・近世ヨーロッパ世界の動向 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント、詳説世界史図録 ・世界史重要語句チェックリスト ・生徒用タブレット 	<p>【知識・技能】 宋と中央ユーラシア諸民族、モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 宋と中央ユーラシア諸民族、モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して、歴史的なもの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 宋と中央ユーラシア諸民族、モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>第Ⅲ節 諸地域の統合・変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業革命と環大西洋革命 欧米国民国家の形成 帝国主義の成立と列強の世界分制 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント、詳説世界史図録 世界史重要語句チェックリスト 生徒用タブレット 	<p>【知識・技能】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど、国民国家と近代民主主義社会の形成、二つの大戦に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり、二つの大戦などに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり、二つの大戦などに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	<p>第Ⅲ節 諸地域の統合・変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア諸国の変革と民族運動 第一次次世界大戦とロシア革命 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント、詳説世界史図録 世界史重要語句チェックリスト 生徒用タブレット 	<p>【知識・技能】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど、国民国家と近代民主主義社会の形成、二つの大戦に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり、二つの大戦などに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり、二つの大戦などに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>第Ⅲ節 諸地域の統合・変容</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ アジア・アフリカの民族運動 世界恐慌 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント、詳説世界史図録 世界史重要語句チェックリスト 生徒用タブレット 	<p>【知識・技能】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど、国民国家と近代民主主義社会の形成、二つの大戦に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり、二つの大戦などに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり、二つの大戦などに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史B 単位数： 6単位

対象学年組： 第3学年D組～E組

使用教科書	「詳説世界史 改訂版」(山川出版社)
使用教材等	「詳説 世界史図録 第4版」「世界史総合テスト」「詳説世界史10分間テスト」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	古代オリエント世界 ギリシア世界	古代オリエント世界のダイナミックな展開と文化の伝播や後世への影響を理解する。また、エーゲ文明のおこりとポリスの成立・発展について理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	18
5月	ギリシア世界 ローマ世界 インドの古典文明	ペルシア戦争以後のギリシア・ヘレニズム時代を通じてその文化の特徴を理解し、またローマ世界の地中海一帯への拡大と衰退を他地域との関わりの中で理解する。さらにインドの古典文明を風土・宗教などに着目して理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	24
6月	中国の古典文明 南北アメリカ文明 草原の遊牧民とオアシスの定住民	漢王朝までの中国古典期に、20世紀初頭までの中国の政治体制の築かれたことを理解する。また、アメリカ大陸ではユーラシア大陸とは別個に独特の文明がおこり、ユーラシアの内陸アジアの草原や砂漠地帯では遊牧民・狩猟民・オアシス民の世界が広がっていたことを理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	24
7月	北方民族の活動と中国の 分裂 東アジア文化圏の形成	北方民族の王朝の華北への侵入に始まる中国の分裂・動乱と、再び統一された隋・唐時代の中国の発展と、東アジア世界への影響を理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	12
8月	(明・清の時代) (東アジア世界の動向・ 清代の中国と隣接諸地域)	14世紀以降の明・清の時代の東アジア世界の動向を琉球・日本・朝鮮半島・東南アジア・チベットなど、隣接する地域との関係に着目しながら、グローバルに理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	18
9月	東南アジアの諸文明 イスラーム世界の形成と 発展	東南アジアの自然・風土・宗教などに着目し、インド世界や中国世界との交流の中で発展していったことをヨーロッパの進出理解する。また、7世紀に成立したイスラーム教は世界中に広がり、その地方の文化と融合して、さらにムスリム商人は交易活動によって諸文明の交流が促されたことを理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	
10月	東アジアの諸地域の自立化 (宋・遼・金) モンゴルの大帝国 トルコイラン世界の 展開・ムガル帝国の興隆	唐の滅亡以後からモンゴル帝国がユーラシアの大半を統合した13～14世紀までの内陸アジア・東アジア世界の興亡をダイナミックに理解する。また、14世紀以後に成立したティムール朝・オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国の4つのイスラーム王朝の繁栄を理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	24
11月	ヨーロッパ世界の形成と 発展	ゲルマン民族の大移動、西ローマ帝国滅亡後の中世ヨーロッパ世界の成立・発展・展開を、諸民族の興亡とキリスト教会の分裂と確立、イスラーム勢力の進出などに着目しながら、理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	24
12月	テーマ史(朝鮮史など)	古代から現代までの朝鮮半島の歴史、中国の王朝交替・土地制度・税制・儒教史・文学史などを通史で理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	12
1月	テーマ史(文化史・冷戦後の世界など)	ヨーロッパ・中国などの地域文化と、冷戦後から近年にいたる現代史の動向を理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。 論述・考査。	18
2月				
3月				

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史B 単位数： 6単位

対象学年組： 第3学年A組～C組

使用教科書	「詳説日本史 改訂版」(山川出版社)
使用教材等	「新詳述日本史史料集」「新詳日本史」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第1章 日本文化のあけぼの	自然環境や大陸文化の影響に着目し、各時代の文化やその特徴について理解させる。	○縄文時代から飛鳥時代までの社会の様子を自然環境や大陸文化の影響などから多角的に考察している。	18
5月	第2章 律令国家の形成①	東アジア世界との交流に着目し、律令国家が成立する過程について理解させる。	○律令国家のしくみについて諸資料を活用し読み取っている。 ○律令国家の成立やその後の展開について課題意識をもっている。	24
6月	第2章 律令国家の形成②	東アジア世界との交流に着目し、律令国家の展開について理解する。	○平安時代の政治・経済・社会について土地制度の変遷や武士の台頭などから多角的に考察している。	24
7月	第3章 貴族政治と国風文化①	土地の変遷や武士の台頭に着目し、国内政治の動向と文化の特色について理解する。	○平安時代の文化の特徴を理解している。	12
8月	第3章 貴族政治と国風文化②	土地の変遷や武士の台頭に着目し、国内政治の動向と文化の特色について理解する。	○平安時代の文化の特徴を理解している。	18
9月	第4章 中世社会の成立	武士による土地支配や公武関係、宋・元など東アジアとの関係、仏教の動向について理解する。	○鎌倉時代の政治・経済・社会について課題意識をもっている。 ○鎌倉時代の文化や仏教の動向について諸資料を活用し読み取っている。	
10月	第5章 武家社会の成長	諸産業や経済の発展、庶民の台頭や下剋上に着目し、中世社会の展開について理解する。	○室町時代の政治・経済・社会について諸産業の発達や庶民の台頭などから多角的に考察している。 ○室町時代の文化の特徴を理解している。	24
11月	第6章 幕藩体制の確立	ヨーロッパやアジア各地との交流に着目し、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済・社会について理解する。	○織豊政権と幕藩体制下の政治・経済・社会について課題意識をもっている。 ○ヨーロッパやアジア各地との交流について諸資料を活用し読み取っている。	24
12月	第7章 幕藩体制の展開①	諸産業や交通、都市の発達に着目し、人々の生活や文化について理解する。	○江戸時代の人々の生活や文化について諸産業や都市の発達などから多角的に考察している。 ○江戸時代の文化の特徴を理解している。	12
1月	第7章 幕藩体制の展開② 第8章 幕藩体制の動揺	欧米諸国のアジア進出や洋学・国学など新しい学問と思想に着目し、幕藩体制の展開について理解する。 幕藩体制が動揺していく過程を理解する。	○幕藩体制が動揺していく過程を欧米諸国のアジア進出や新しい学問の影響などから多角的に考察している。 ○幕藩体制が動揺していく過程について理解している。	18
2月				
3月				

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 地理B 単位数： 4 単位

対象学年組： 第3学年F組

使用教科書	「新詳地理B」（帝国書院）／「高等地図帳 改訂版」（二宮書店）
使用教材等	「最新地理図表GEO」「データブック オブ・ザ・ワールド2022年版」「ウィニングコンパス地理の整理と演習2022」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・地図の種類と活用法	現代世界の地図について、さまざまな時代や種類の地図の読図などの活動を通じて、各時代の人々の生活観を捉え、現代の地図や身近な地図の有効性に気づく。	地図種類とその利用について、地球儀を活用して、球体としての地球の特徴と地図に表現した場合の特性、時差に対する関心と課題意識を高める。	12
5月	・自然環境と世界の地形	世界の地形について、営力的な視点で分類し、大地形、小地形の分布や成因を考察する。	世界の地形について、内的営力・外的営力といった営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形を系統的に捉える。	16
6月	・世界の気候	世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業などの人間生活への影響を考察する。	世界の気候成因、各気候の特徴について、系統的に捉える視点や考察方法、人間生活への影響を理解し、その知識を身に付けさせる。	16
7月	・日本の自然の特徴	日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、自然災害の特徴を理解するとともに、防災のあり方を考える。	日本の地形と気候の特徴とこれによって生じる自然災害の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法、防災のあり方を理解する。	8
8月	・補習	受験対策		12
9月	・環境問題	環境について、世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、環境問題の特徴と対策について考察する。	地球温暖化、森林破壊、砂漠化の事例、日本の環境問題の特徴と対策について、その知識を身に付けさせる。	
10月	・資源・エネルギー問題	現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。	資源やエネルギーの不均衡や石油情勢、エネルギーのあり方について、系統地理的に抱える視点や考察方法を理解する。	16
11月	・人口問題	人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察する。	世界の人口について、世界人口の分布や動態などに関する考察を基に、人口構成や人口転換に対する関心と問題意識を高め、それを意欲的に追求し捉えようとする。	16
12月	・民族・領土問題	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察する。	現代世界の民族・領土問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとする。	8
1月	・地誌の考察	地誌の考察方法について、地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して、考察する方法、特徴ある事象と他の事象を有機的に関連付ける考察方法。	地誌の考察方法に対する関心と課題意識を高め、それぞれを意欲的に追求し捉えようとしている。	12
2月				
3月				

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史演習 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年D組～E組

使用教科書	
使用教材等	「詳説世界史 改訂版」「詳説 世界史図録 第4版」「世界史総合問題α」「10問テスト」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第二次世界大戦	第二次世界大戦の展開をグローバルに理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	6
5月	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	冷戦構造がつくられる過程をグローバルに理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	8
6月	冷戦の成立・激化	冷戦構造の変化をグローバルに理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	8
7月	現代の世界	冷戦崩壊後のグローバル化の進展と途上国の民主化・地域紛争・貧困について理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	4
8月	大航海時代	世界の一体化の始まりについて理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	6
9月	ルネサンス 宗教改革 主権国家の成立	ルネサンス、宗教改革と主権国家の形成、絶対王政・ヨーロッパ諸国の覇権争いについて理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	
10月	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命	産業革命、さらにアメリカ独立革命、フランス革命など大西洋革命について理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	8
11月	ナポレオン時代 ウィーン体制 ラテンアメリカの独立	18世紀後半から19世紀初頭の世界をグローバルに理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	8
12月	ヨーロッパの再編 アメリカ合衆国の発展	19世紀半ばまでの世界をグローバルに理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	4
1月	18～19世紀文化史	ヨーロッパの近現代の文化について理解する。	歴史用語を理解し、歴史の流れをグローバルに捉えて表現できるか。ノート提出・小テスト・論述・考査。	6
2月				
3月				

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史演習 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年A組～C組

使用教科書	
使用教材等	「詳説日本史 改訂版」 「新詳述日本史史料集」 「新詳日本史」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	日本の開国～明治維新	日本の開国と幕末の動乱、明治初期の諸政策について理解する。	小テスト・問題演習等で評価する。	6
5月	自由民権運動～日清戦争	自由民権運動の展開・日朝日清問題の過程を理解する。	小テスト・中間考査等で評価する。	8
6月	日露戦争～韓国併合	日本の韓国進出を東アジア史全体の中で理解する。	小テスト・問題演習等で評価する。	8
7月	第一次世界大戦～第二次世界大戦	第一次、第二次世界大戦の概要と当時の世界情勢について理解する。	小テスト・期末考査等で評価する。	4
8月	戦後改革～高度経済成長	戦後改革期の民主化政策、高度経済成長について理解する。	小テスト・問題演習等で評価する。	6
9月	原始社会の展開	旧石器・縄文・古墳時代の社会・文化の特徴について理解する。	小テスト・問題演習等で評価する。	
10月	古代社会の展開	飛鳥・奈良・平安時代の政治・社会・文化の特徴について理解する。	小テスト・中間考査等で評価する。	8
11月	中世社会の展開	鎌倉・室町時代の政治・経済・社会・文化の特徴について理解する。	小テスト・問題演習等で評価する。	8
12月	近世社会の展開	江戸時代の政治・経済・社会・文化の特徴について理解する。	小テスト・期末考査等で評価する。	4
1月	テーマ史演習	経済史・文化史・土地制度史などのテーマの史的展開を理解する。	小テスト・問題演習等で評価する。	6
2月				
3月				

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 地理演習 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年F組

使用教科書	
使用教材等	「新編地理資料2023」 「完全マスター地理B問題集改訂版」 「ウィニングコンパス地理の整理と演習2023」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・地図・地理情報 ・大地形	・様々な地図や図法の理解 ・プレートの動きと大地形の関係及びその特性の理解	・演習を通して、多くの図法の理解、地体構造の特性や資源、地震や火山などの関係が理解できたか。	6
5月	・様々な地形 ・気候 (1学期 中間考査)	・沈降、隆起、堆積、侵食等の小地形の理解 ・気候の成因を理解し、世界の気候区分をケッペンの分布表に基づいて把握	・演習を通して、様々な地形の成因や特性と分布、及び気候の特性や分布を雨温図やハイサーグラフで理解できたか。	8
6月	・気候と植生、土壌 ・様々な水	・世界の植生や土壌の成因や特性を気候分布との関係で考察 ・様々な水の存在とその分布の理解	・演習を通して、世界の植生や土壌の分布及び生活との関係が理解できたか。 ・水が私たちの生活においてどのように利用されているかが理解できたか。	8
7月	・環境問題 (1学期 期末考査)	・地球レベルの環境問題の種類、対策及び分布の理解	・演習を通して、地球レベルの環境問題の現状と対策が理解できたか。	4
8月	・農林水産業	・主な農産物の種類、生産地域及び特性や移動の理解	・演習を通して、三大穀物やその他の農産物の地域分布が理解できたか。	6
9月	・農林水産業 ・食糧問題	・林業及び水産業について、その特性と世界的な生産割合の把握 ・食糧需給の地域差と食糧問題、わが国の食料輸入問題についての理解	・演習を通して、林業や水産業の変化やその特徴が理解できたか。 ・世界やわが国の農業と食糧需給の推移や背景が理解できたか。	
10月	・鉱工業 (2学期 中間考査)	・エネルギー資源の種類、生産分布及び消費と輸入問題についての理解 ・工業製品の特性や分布、及び工業立地についての理解	・演習を通して、わが国のエネルギー資源の消費変化とその背景等の理解。 ・世界の工業立地の分布や変化が理解できたか。	8
11月	・交通、通信、貿易 ・人口、人口問題	・経済活動の国際化に伴い、わが国や世界の交通や貿易がどのように変化してきたかを理解 ・世界の人口と人口動態について、また先進国・途上国の人口問題の理解	・演習を通して、世界の貿易の現状やわが国の貿易の現状が理解できたか。 ・様々なデータやグラフから出生率等の推移を読み取り、理解できたか。	8
12月	・村落、都市 ・生活文化・民族・宗教 (2学期 期末考査)	・村落や都市の特性や立地条件の理解 ・世界の宗教や民族を把握するとともに、民族問題についての理解	・演習を通して、村落や都市の特性と都市問題等について理解できたか。 ・世界の民族問題の分布と原因について理解できたか。	4
1月	・国家及び国家群 ・世界地誌	・今日の代表的国家群についての理解 ・世界地誌について、地域の概要や問題の理解	・演習を通して、代表的な国家群の概要やわが国との関係が理解できたか。 ・総合問題として多くの地誌を取り上げる。	6
2月				
3月				